

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 19-033)

1 台湾とナウルは、両国を結ぶ航空サービス協定に署名（同協定は、両国間を結ぶ台湾及びナウルの双方の航空会社による航空便の運航に許可を与えるものであり、台湾総統の立会いの下、同国運輸通信相とナウル大統領の間で署名）

[原文](#)

(14 December 2019, Taipei Times)

2 【論説】中国は、グアムにあるアメリカ海軍基地に対抗するため、アメリカと同盟を結ぶミクロネシアへの経済援助をちらつかせる（ミクロネシアはグアムのアメリカ海軍基地の比較的近くにあり（同国のヤップ島はグアムから約700 km に位置する）、中国は自国船の配備と燃料補給のためのハブをミクロネシアに設置したいのだと、多くの人は信じている。アメリカは、ミクロネシア等に対し、アメリカ海軍基地の設置と引き換えに財政支援を行っており、現在の協定は 2023 年まで続くが、激しい反対に直面しており、中国がその影響力を拡大するための突破口となりうる。）

[原文](#)

(14 December 2019, Nikkei)

3 ミクロネシア大統領は、中国の習近平国家主席、李克強首相と会談し、両国の経済技術協力に合意（両国外交官・政府職員のビザ免除、ポンペイ州政府庁舎改修に 1000 万 US ドルの基金、チューク州だけでも 5000 万 US ドルとなる各州の道路の舗装に関する実現可能性調査、ミクロネシア全土にわたる職業訓練所の初期設計、遠隔地等への中国の医療サービスチームの訪問、農業促進、1200 万 US ドルの新たな経済協力等）

[原文](#)

(14 December 2019, The Government of FSM)

4 ソロモン諸島警察は、豪州から供与された新たなガーディアン級のパトロールボートにより、海上監視能力が強化される（ソロモン諸島警察は、2 隻のボートを所有しており、今回は 1 隻目の代替）

[原文](#)

(19 December 2019, Solomon Star)

5 パラオの 2 つの州政府（オギワル州、コロール州）は、同国の保護区ネットワーク（Protected Areas Network (PAN)）プログラムから、監視、調査等

の同プログラム実施のために使用される小型ボートを受領

[原文](#)

(20 December 2019, Island Times)

※以下の Island Times は、時間帯によって表示に時間がかかる場合やアクセスできない場合がございます。その際は、お手数ですが時間をしばらくおいてから再度お試してください。

6 パラオのレメンゲサウ大統領は「(同国の) 国家海洋保護法は、2020 年 1 月に施行する」と発言し、同法実施におけるガイドラインとなる新たな規則に署名 (同規則に基づき、2025 年 1 月までに、釣り竿と糸を除くすべての漁船は、監視者を乗船させ、監視用の電子機器を設置することが求められる。)

[原文](#)

(20 December 2019, Island Times)